



近 畿 地 方 整 備 局 兵 庫 国 道 事 務 所
資 料 配 布

配布日時	平成30年 8月 14日 14:00
------	-----------------------

(神戸市 同時発表)

国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針について

～ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”=未来型駅前空間の創出～

三宮駅周辺は、「中長距離バスの乗降場が6つに分散している」「駅からまちへのつながりが弱い」などといった課題を抱えています。

このたび、国土交通省と神戸市は、ひと・モノ・交通が行き交う新たな未来型の駅前空間の創出に向け、**国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針**を取りまとめました。

今後、本方針に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で事業計画等の具体化を進めてまいります。

■整備方針の概要

○中長距離バスターミナル整備によるモーダルコネクト(交通結節機能)の強化

分散するバス乗降場を集約するとともに利便性等を高め、交通結節機能を強化

○国道2号周辺の交通円滑化

デッキによる歩車分離や交差点改良等によりバスターミナル前の国道2号の交通を円滑化

○魅力的な駅前空間の整備及びまちの回遊性向上

三宮クロススクエアの整備や駅前広場の再編等により、魅力的かつ行き来しやすい駅前空間を創出

○まちの防災性能の向上

非常時に待機・避難場所等として機能する屋外空間など、まちの防災性能を向上

○未来志向の移動支援導入

自動運転やパーソナルモビリティなど、新たな技術導入を見据えた空間を整備

配布場所	兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ
------	---------------------

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 副所長	むらた なおき 村田 直磯	078-334-1600(代表)
神戸市 住宅都市局 都心再整備本部 事業推進担当課長	わしお まゆみ 鷲尾 真弓	078-322-0247(直通)

国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針

ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”=未来型駅前空間の創出

国土交通省
神戸市

兵庫・神戸の玄関口である三宮駅周辺は、阪神・淡路大震災以降の機能更新が進んでおらず、「中長距離バスの乗降場が6つに分散している」「駅からまちへのつながりが弱い」といった課題を抱えています。そこで市民、事業者、行政が将来像を共有し、その実現に向けて官民連携で取り組むため、平成27年9月に三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定し、まちや経済の活性化、国際競争力の向上を目指しています。

このたび、国土交通省と神戸市は、ひと・モノ・交通が行き交う新たな未来型の駅前空間の創出に向け、以下のとおり「国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針」を取りまとめました。

- 中長距離バスターミナル整備によるモーダルコネクト(交通結節機能)の強化
駅周辺の限られた空間を有効活用する方策として「立体道路制度」を活用しながら、分散するバス乗降場を集約した西日本最大級の中長距離バスターミナルを整備することで、都心における先駆的な空間活用を図りながら、バス利用者の安全性・利便性を高めるとともに、駅とまちを有機的につなぐ「えき≈まち空間」との連携により、多様な交通手段が選択可能で利用しやすい環境をつくります。
- 国道2号周辺の交通円滑化
デッキ等の整備によって歩行者とバス・自動車とを安全に分離するとともに、併せて交差点改良等を行うことにより、慢性的な交差点等での混雑を緩和し、交通の円滑化を図ります。
- 魅力的な駅前空間の整備及びまちの回遊性向上
道路を人と公共交通優先の空間に転換する“三宮クロススクエア”の整備により、山と海が近接する豊かな自然と都心の活力が共存する神戸独自の魅力・神戸らしさを身近に感じられる魅力的な駅前空間を創出するとともに、民間施設も活用しながらデッキや地下の歩行者空間の再構築を行うことで、駅と駅、駅とまちが行き来しやすい回遊性の高い空間をつくります。
- まちの防災性能の向上
阪神・淡路大震災の経験等を生かし、バスターミナルビル等においては、災害時における帰宅困難者の安全確保や事業継続性の確保など防災機能を有するとともに、非常時の待機・避難場所等として三宮クロススクエアをはじめとする屋外空間の活用を図ります。
- 未来志向の移動支援導入
自動運転化への対応やパーソナルモビリティの拠点設置など、今後の新たな技術導入を見据えながら、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した未来志向の移動支援の導入に向けたターミナル及び道路空間の整備を行います。



ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間の創出



駅及び国道に直結する中長距離バスターミナル、「えき～まち空間」及び「三宮クロススクエア」の整備によりひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”となる未来型駅前空間が誕生。駅・みち・まちが一体的に生まれ変わります。

三宮駅前はこちら変わります！

魅力的な駅前空間の整備 及びまちの回遊性向上



三宮クロススクエアの整備や駅前広場の再編等により、魅力的かつ行き来しやすい駅前空間を創出



中長距離バスターミナル整備 によるモーダルコネク (交通結節機能)の強化



分散するバス乗降場を集約するとともに利便性等を高め、交通結節機能を強化

えき～まち空間
三宮の6つの駅とバス乗降場をあたかも1つの「えき」とみなし、周辺の「まち」と一体的につながることで、乗り換えや「まち」への行き来がしやすい空間。

まちの防災性能の向上



非常時に待機・避難場所等として機能する屋外空間など、まちの防災性能を向上

未来志向の移動支援導入



自動運転やパーソナルモビリティなど、新たな技術導入を見据えた空間を整備

国道2号周辺の交通円滑化



デッキによる歩車分離や交差点改良等によりバスターミナル前の国道2号の交通を円滑化



国道2号等神戸三宮駅前空間の整備方針 神戸三宮駅が抱えるさまざまな課題



まちの課題

- ・兵庫・神戸の玄関口である三宮駅前の更新が進んでいない。
- ・駅からまちへのつながりが弱く乗り換え動線がわかりにくい。



復興優先で更新が進んでいない三宮駅前

都市交通の課題

道路（国道等）の交通

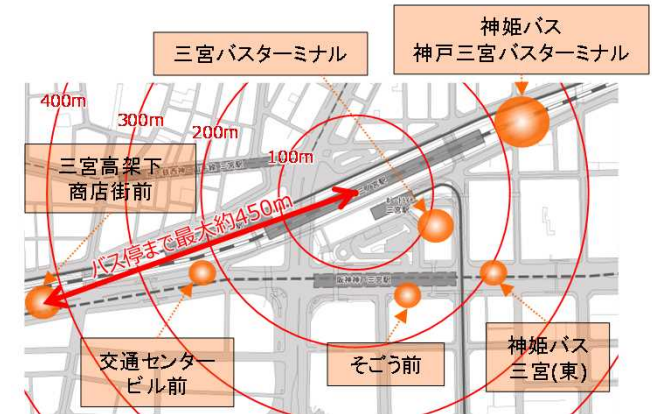
三宮駅付近の国道2号上交差点において、交通混雑が慢性的に発生している



歩行者や自動車で混雑する三宮東交差点

バス交通

中長距離バス停が6つに分散しているためにわかりにくく、利便性や安全性に欠けている



6つに分散する中長距離バス停

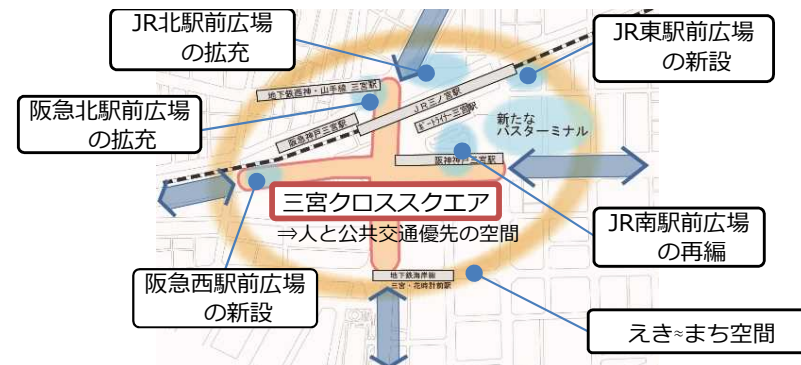
国・市の連携のもと、国道2号と一体となった新たなバスターミナルを整備
「えきまち空間」との相乗効果により、モーダルコネクト（交通結節機能）を強化

新たな中長距離バスターミナルの整備

立体道路制度を活用して、分散する6箇所のバス停を集約し、安全でわかりやすいターミナルを整備



「えきまち空間」の創出



神戸の玄関口にふさわしい公共空間を官民連携で創出しながら、駅とまちを有機的につなぐ「えきまち空間」を実現